

筑波大学連携大学院博士科課程生命環境科学研究科生物機能科学専攻 2 年次
(独) 農業生物資源研究所生体高分子研究グループ蛋白機能研究チーム

鈴木 喜大 (すずき のぶひろ)

私は 2002 年 6 月 2 日から 7 月 1 日までの 1 ヶ月間、ビームラインアシスタントを務めさせていただきました。私のアシスタントの任期はちょうどサッカーの世界カップと重なっていました。実験ホールや食堂ではユニフォーム姿の人があり、少しばかりですが世界カップの雰囲気を味わうことができました。



私は筑波大学に在籍していますが、所属している研究室は連携大学院のために学内ではなく、学園都市南部の農水省系の研究所がいくつか集まった農林研究団地内にあります。KEK からは国道 408 号線を南方へ車で 30 分程度のところにあります。研究室ではタンパク質を中心とした生体高分子の X 線結晶構造解析を行っており、私は蛇毒由来蛋白の X 線結晶構造解析を中心に研究を進めています。このうちの 1 種類の結晶がアシスタント期間の直前と任期中に得られ、空き時間を利用してデータを収集することができました。

私のアシスタントとしての仕事は毎朝の入射後のアライメントと波長変更が主でした。また Raxis IV++ が BL6B に設置されたばかりで、まだ使い慣れていない、あるいは初めて使うという方々には使用法の説明等もさせていただきました。私がまだまだ未熟なため十分に満足いただけるような説明は出来ませんでした。私の前任者が作成したマニュアルが秋までには整備されると思うので、秋以降に利用される方はそれを活用していただければ、より分かりやすくなると思います。

1 ヶ月間というアシスタント生活は終わってみれば長いようであっという間に過ぎてしまいました。この間に様々な方々と交流することができとても嬉しく思っています。また鈴木さん、五十嵐さん、そして松垣さんには昼や夜に食事に連れ出していただき、今後ユーザーとして来た時の食事の参考になりました。今後機会があったら、またアシスタントをやってみたいと思います。

最後に私のアシスタント生活を支えていただいた坂部先生をはじめ全ての方々にお礼を申し上げます。本当にお世話になり有り難うございました。 (2002.07.20)